

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市大野田児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 34,322人 (前年度比 104.0%) 平成28年度 32,999人 平成27年度 30,364人 平成26年度 28,285人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 41,245千円 (31,592千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。特に、浸水想定区域であるという立地状況を踏まえハザードマップの掲示や災害時の対応マニュアルの整備を行っている。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。職員は、利用者に対する気持ちのよい挨拶や丁寧な対応を心がけている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、児童クラブ通信や個人面談、保護者懇談会で児童の様子について情報を共有し、保護者との信頼関係を構築している。学校との連携にも努め、児童館職員が学校に向かう、学校の職員が児童館やサテライトを訪問するなど、双方向で情報を共有する場を設けている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人ワーカーズコープ ）による自己評価》
<p>今年度は、毎年実施していた地域清掃のクリーン作戦をより地域に根差した活動にという思いから各町内会長さんや民生委員さん近隣施設・シニアボランティアさんへと参加のご協力を呼びかけて実施をした。年4回の実施の中で子どもたちにも地域の美化に対する意識や清掃活動についての理解を深められようになっていった。また、活動に対する呼びかけにご賛同いただいた参加者(町内会長や民生委員の方々、近隣施設の職員やボランティアの方々など)も増えてより一層地域一体となった活動へと広がりを見せていった。地域の中に暮らす児童が通う児童館としての認知度なども上がっていくこととなった。</p> <p>昨年度より実施している当団体の事業所がある登米の鱒淵地域と連携を図り都市農村交流を実施することが出来た。年3回の計画で実施し、春夏秋冬と季節に応じた学びの有る体験活動を実施、都市部に暮らす大野田児童館の児童と山間地域で暮らす登米鱒淵地区の方々との交流も生まれる活動となった。自然体験や昔遊び、森の中での木々の学び、郷土の料理についてなど児童の五感を刺激するような普段の児童館ではできない活動を通じて児童の成長を感じまた豊かな表情を作ることが出来た活動となった。</p> <p>また、今年度はサテライト室が1室増えて第1、第2サテライトの開室と本館での児童受け入れと運営の難しさを感じることもあったが、職員配置や情報の共有など工夫しながら運営を進めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>転出入や乳幼児親子の利用が多いという地域の状況を踏まえ、子育て支援クラブをはじめ地域組織、団体、住民、関係機関等と関わりながら、地域交流・世代交流を意識した取組みを実施している。</p> <p>老人福祉センターとの併設館である利点を活かし、老人福祉センター利用者と交流する行事を行っているほか、これまで実施していた地域清掃「クリーン作戦」を町内会等にも参加を呼びかけ、子どもと地域住民が共に活動を行うなど、世代間交流の機会を広げている。</p> <p>また、児童館まつり、1年生を迎える会、お楽しみ会等は、児童が主体となり計画・実行に取り組んでいるほか、登米地区で年間3回季節に応じた自然体験活動を実施するなど、多様な経験の場を提供し、健全育成の充実にも取り組んでおり、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室